

令和4年度 国際科に関する評価（自己評価）

○児童アンケートにおいて肯定的評価が8割を超えていた。（7月 81.7%→12月 84.0%）

次の4点が要因と考える。

- ・毎時間の授業でALTや友達と英語を使ってお互いの考えなどを聞き合う活動を行った。
- ・単元の内容に応じて、パフォーマンス課題として自分の思いや考えを発表する活動を行った。
- ・パフォーマンス課題を行う際にはスピーチの内容を広げるために、インターネット等で調べたり、スライドを作成したりなど一人1台端末を活用した。
- ・国際交流として、国際大学の学生から母国の習慣や文化についての話を聞いたり、一緒にゲームをしたりなどの活動を行った。また、高学年では、修学旅行で行った佐渡の紹介（6年生）や国内のおすすめスポット（5年生）を紹介を行った。

令和4年度 国際科に関する評価（学校関係者評価）

○保護者アンケートにおいて肯定的評価が8割を超えていた。（7月 90.4%→12月 90.8%）

令和5年度の取組

- 今後も、授業の中でやりとりや発表の時間を確保すると共に、国際大学を初めとした外国の方と交流する活動が充実するよう人材を発掘していく。
- 引き続き、HPや便り等を通じて、国際科の取組を保護者や地域に紹介していく。

